

11月例会報告



茨城青全交開催!! 2017年秋



日立支部 11/4 (水)

父はベルトをつなぎ、私は人をつないでいきます

報告者: 大月 章子さん
(有)茨城ベルトサービス 取締役



日立支部11月例会は、水戸支部の大月章子さんを迎えて開催しました。創業者として絶対的な存在である父親や社員と何度もぶつかりながらも、決してあきらめず、自社を何とか良くしていきたいというひた向きで、真っ直ぐな思いで経営をされてきた大月さん。会社に入った当初の葛藤や苦悩を涙ながらに語る姿には、参加者も思わず目頭が熱くなりました。経営指針を学ぶ中で、今の自分と真正面から向き合い、過去を振り返り、未来を考える日々の奮闘を包み隠さず本音で語ってくれた大月さんの報告に心を動かされる例会となりました。多くのオブザーバー参加があり、また水戸支部からもたくさんの仲間が大月さんの応援に駆けつけてくれました。

レポート: 永岡 誠司 さん

県央海浜支部 11/27 (金)

目を覚ませ!
経営指針は、作っただけでは意味がない

報告者: 玄地 学さん
東洋産業(株) 代表取締役/宮城同友会会員



県央海浜支部11月例会は「企業変革支援プログラムの活用」をテーマとし、宮城同友会から、中同協経営労働委員会副委員長の玄地学氏をお招きし、ご報告いただきました。日々の経営の中で見つかる「問題点」は羅列するだけでは解決しません。「問題点」を解消する為の「課題」を見つけ、その「課題」をひとつひとつ解決していかないと会社は成長しないとおっしゃっています。社内活用の事例として、社員全員でStep1を行い、点数の低い箇所についてグループ指針を行い、社員と共に課題を見つけていきます。社員を最も信頼できるパートナーと考えると、社員からもういいアイデアがたくさん出るようになります。また、会内では、支部の平均点を出して比較したり、平均点が低い箇所を例会テーマにしたりといった事例が紹介されました。県内6支部と埼玉同友会からも4名の参加をいただき、参加人数も今期最多の38名でとても有意義な例会となりました。

レポート: 大畑 仁人さん

水戸支部 11/26 (木)

地方創生と地方紙の役割
~124年間地域情報を発信し続ける
地方紙の担う使命とは~

報告者: 小田部 卓さん
(株)茨城新聞社 代表取締役社長



水戸支部11月例会の報告者は、水戸支部会員の小田部卓さんでした。茨城県一の地方新聞である茨城新聞社の代表取締役社長として、東日本大震災の際も、休刊する事なく継続して新聞発行をすることが出来た経験から、しっかり地域を見据え、地域創生のために地域に向けて情報を発信する大切さ等、日頃はなかなか聞けない裏話を交えご報告頂きました。2016年には、「茨城セレクション125」と称して「茨城の宝」を選定する事業が始まります。「みんなで選ぼう」地域の宝!

レポート: 浅川 文規さん

南西支部 11/19 (木)

売上をあげるキーワードとは?

報告者: 富山 達也さん
(株)富山塗装 代表取締役



南西支部11月例会は水戸支部から富山達也さんをお迎えしました。今年度のいばらき中小企業経営フォーラムの学生交流会でも発表をされた富山さんの報告を聞きに、茨城同友会全6支部から参加者があり、盛況の中で開催することが出来ました。売上アップのキーワードは、「安心感」。現状の把握と分析、リスク回避など、目先の利益ばかりにとらわれず、しっかりとした経営戦略の中で、1つ1つを着実に実践し、安定的な利益と事業を継続していく努力こそが、顧客拡大に繋がっていくことを実感しました。常にチャレンジ精神を持ち、行動に移していくことの大切さを改めて学ぶ事が出来、参加者が元気をもらえる例会となりました。

レポート: 事務局

県西支部 11/17 (火)

持続可能な企業づくり
持続可能な企業をつくるためにあなたは何をしますか?
グループ討論に挑戦した“とことん、じっくり討論”会
グループ討論テーマ
1. 同友会であなたは何を学び、何を学びたいですか?
2. 持続可能な企業をつくるために、あなたは何をしますか?



県西支部11月の例会は、報告+グループ討論の通常構成を変えて、オールG論のおもいきりG論例会として開催されました。G論時間は全国並みの110分、過去最少の参加者(6名)もある意味嬉しい、各人が順次『自信が思ふ持続可能な企業感』とともにその現状と課題を発信し、他の参加者から提案をいただくかたちになり、参加者からは「経営者には何かしら悩みがある、その悩みは本気だからこそ生じるもの、本気の先には道が開ける(のかな?)」「とても濃い例会だった」「また参加したい」他、そこに各々それぞれにじっくり手ごたえと明日への活力を感じたようでした。

レポート: 斉藤 哲生さん

ドラゴン支部 11/5 (木)

店舗を閉鎖し、インターネット販売にかける想いとは?

報告者: 坂本 哲治さん
(株)SHUSEN 代表取締役



インターネット靴販売会社、4代目坂本代表より、13~14店舗閉鎖にまつわるお話と、インターネット販売の実状についてお話しいただきました。一歩間違えれば倒産の可能性もあった店舗閉鎖ですが、いくつかの奇跡が起こり、一部の店舗・従業員と、インターネット事業を残すことができました。時代の流れを読み、市場の動向を捉えて戦略を実践していく、厳しい状況の中で様々なご苦労をされながらも、常に前向きに経営を実践される坂本さんの報告に多くの学びと気づきをいただく例会となりました。

レポート: 永峯 一康さん